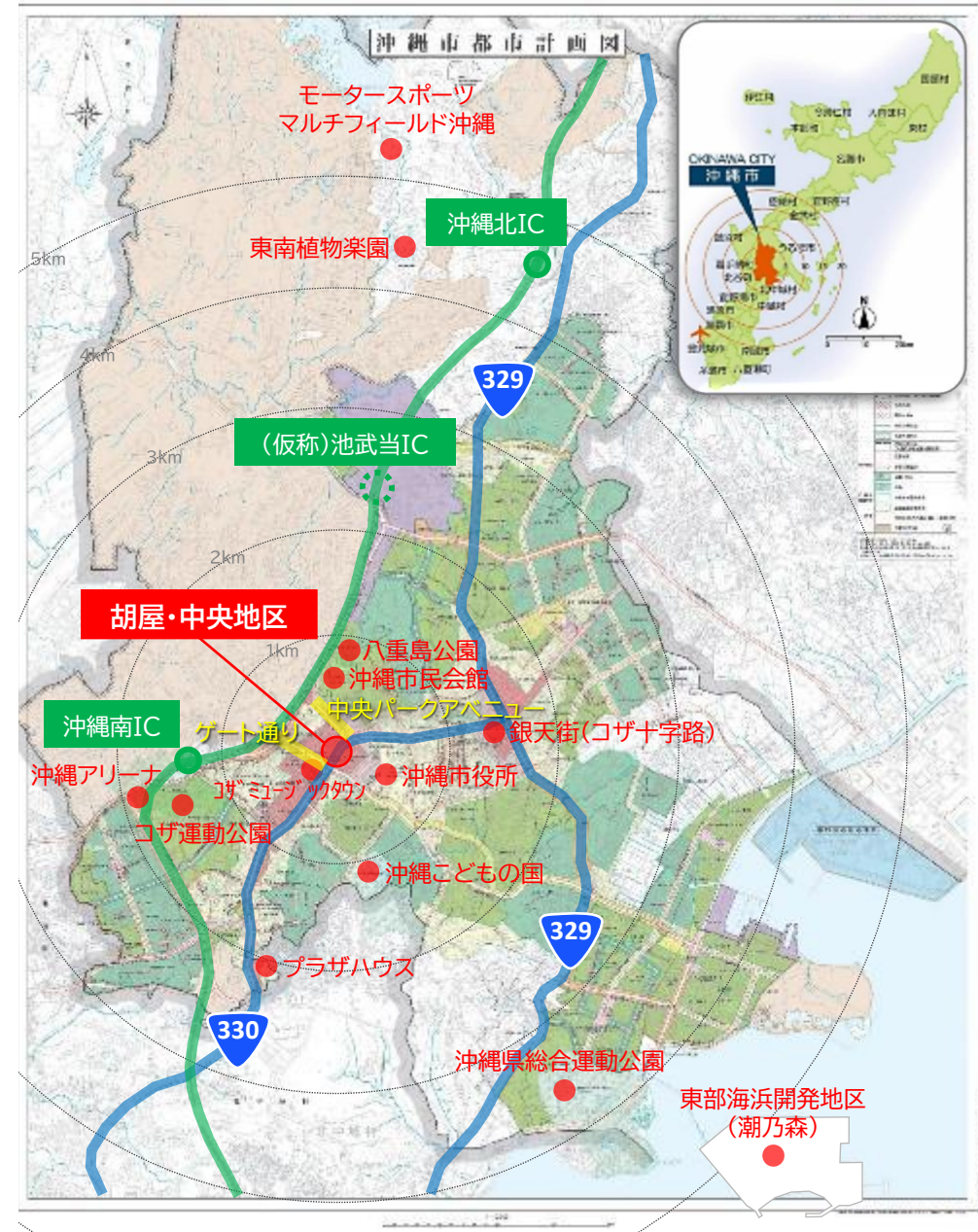


沖縄市の交通拠点まちづくり

2025.08

沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

- 1974年に旧コザ市と旧美里村の合併で誕生
- 沖縄本島の中央部にある農村地域であったが、戦後、米軍基地の門前町として発展
- 人口 約14.2万人（R2国勢調査）
- 市域面積 約49.72km²
- 市域の約35%は米軍基地等が占める
- 第3次産業の就業者数が約8割
- 40か国以上の外国人が居住
- 「国際文化観光都市」を将来像に掲げ、音楽のまち、エイサーのまち、子どものまち、スポーツコンベンションなど、特色を活かしたまちづくりに取り組んでいる。



国内外へ発信し続ける伝統文化

“エイサー”

- ・ 太鼓踊りや手踊りを中心とした伝統芸能
- ・ 沖縄市はエイサーの本場として
平成19年に「エイサーのまち」を宣言
- ・ 毎夏「沖縄全島エイサーまつり」(コザ運動公園)
3日間で約30万人を集客 (第69回・2024)



エイサー演舞 (商店街)



道じゅねー (ゲート通り)



沖縄全島エイサーまつり (コザ運動公園)



野外音楽イベント「ピースフルラブロックフェスティバル」

“音楽”のまちへ繰り出そう！！

- ・多彩な伝統文化、芸能、音楽が豊富
- ・毎年数多くの音楽イベントを開催
- ・まちには多くのライブハウスや民謡酒場が集積
- ・「コザ・ミュージックタウン」が誕生
- ・3F「音市場」来場者数：約6.5万人/年（R6）



ライブハウス

コザ・ミュージックタウン



日本一ユニークな動物園へ！

- ・沖縄県内で唯一の本格的な動物園
- ・既存区域約16ha
(拡張予定：約13ha)
- ・リニューアル整備進行中
- ・土日祝は21:00まで（平日17:30）
- ・来場者数：約73万人/年（R6）

ライオン舎整備



「夜の動物園サタズー（ZOO）ナイト」



本市初！市民待望！

県内最大級の“ビーチ”（約900m）



【事業概要】

埋立面積： 約95ha

埋立形式： 出島方式

“沖縄アリーナ”



【施設概要】

延床面積：約26,200m²

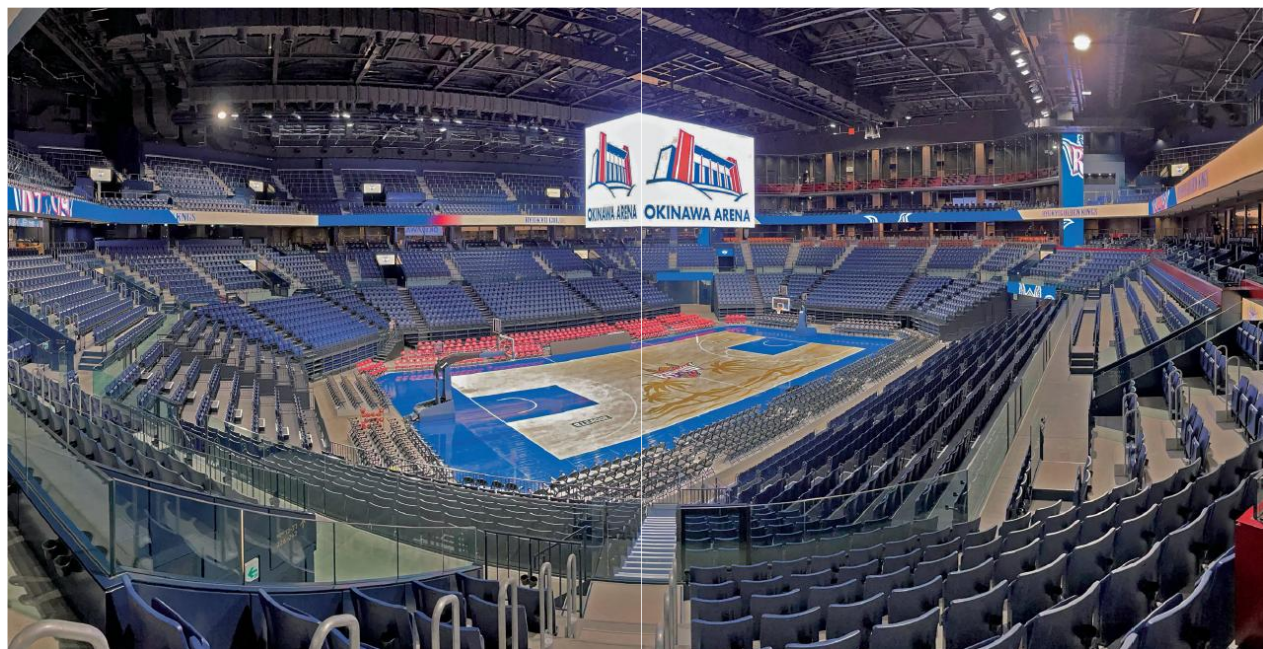
天井高：28m

構造階数：鉄骨鉄筋コンクリート造
地上6階

観客席数：10,000席（最大）

供用開始：R3.3月

来場者数：約51万人/年（R6）



おそらく、沖縄市の商店街イメージは・・・



近年、飲食店やイベント等を中心に、“にぎわい”が起きています。



- まちなかでは、既存ストックを活用した、店舗、飲食店、宿泊施設等が増え、商店街の景色が変わり始めています。



- “まちなかへのアクセス性や回遊性の向上”が課題 ⇒ **胡屋・中央地区交通結節点の整備**を位置づけ。

沖縄県沖縄市

中心市街地活性化基本計画概要

【3期計画：令和6年4月～令和11年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

魅力あふれ、選ばれ、沖縄を牽引するまち

【自治体の概要】 人口：142,351人（R5.4.1・住民基本台帳）、面積：49.72km²

- ・戦前は農村地帯であったが、米軍基地の門前町として商業地区が発達。国際色豊かな街並みと、音楽や伝統芸能が盛んな独自の文化を形成。
- ・異国情緒漂う街並みやライフスタイル、50か国以上の外国人が暮らす国際色豊かな風土と、伝統文化と異文化が融合した個性的な文化を源泉に、内外を魅了するエンターテインメントとビーチ・フロント観光の創出で地域経済をけん引し、さらなる発展をめざしている。

【中心市街地の課題等】

1) 地域経済活性化の推進

空き店舗、閉鎖店舗対策や、商店街を中心とした賑わい創出、地域資源の県内外への発信、交通結節点の整備を見据えたまちづくりなど、街のさらなる魅力の向上が求められている。

公共交通機関の充実や拠点施設からまちなかへの誘客など、アクセス性や回遊性の向上が課題となっている。

2) 住む人、訪れる人、働く人にとって快適な環境づくり

建物の老朽化やまちなかのゴミ・騒音等の対策をはじめ、区画整理事業の推進や子育てや働きやすい環境づくりなど、安全・安心かつ快適に過ごせる環境づくりが求められている。

3) 推進体制の強化

実施主体間・関係団体等の連携強化や民間活力の活用促進に取り組む必要がある。

【中心市街地活性化の方針】

基本方針1：

歴史文化やまちの個性、人々を魅了するエンターテインメントの力を活かしたにぎわいづくり

エンターテインメントの拠点となる施設等からの街なかへの誘客及び集客の促進、交通結節点の整備を見据えた回遊性の向上を図るとともに、魅力的な地域資源を最大限活用し、交流人口の拡大を目指す。

→目標：拠点施設や地域資源の魅力を活かしたにぎわい創出

【歩行者通行量（休日）】 37事業 【観光関連施設入込客数】 6事業

基本方針2：

地域・住民・来訪者にとって快適で良好なまちづくり

安全安心に過ごせるまちづくりの推進に向け、地域課題の解決等に取り組むとともに、子育て支援や就労支援のほか、健康増進や憩いの場の確保に取り組む、住みやすい、働きやすい、快適なまちを目指す。

→目標：安全・安心・快適に過ごせる環境整備

【都市福利施設の年間利用者数】 12事業

【計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値 (R4)	推計値 (R10)	目標値 (R10)
拠点施設や地域資源の魅力を活かしたにぎわい創出	歩行者通行量（休日）	5,486人/日	5,842人/日	6,864人/日
	観光関連施設入込客数	918,192人/年	1,000,139人/年	1,653,300人/年
安全・安心・快適に過ごせる環境整備	都市福利施設の年間利用者数	555,594人/年	961,458人/年	1,100,408人/年

【前期計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値(H27)	目標値(R3)
まちなか交流の促進によるにぎわいの創出	歩行者通行量（休日）	8,886人/日	9,380人/日
	観光関連施設の入込客数	448,981人/年	880,207人/年
中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善	都市福利施設の年間利用者数	829,808人/年	987,308人/年
	居住人口の増減率	▲5.6%(H21～26年)	▲4.4%(H29～R4年)

- 拠点施設や地域資源を活かすため、アクセス性・回遊性向上の中心に、**胡屋・中央地区交通結節点の整備を位置づけ**。

拠点施設や地域資源の魅力を活かしたにぎわい創出

①交通拠点整備促進事業

胡屋・中央地区における交通結節点整備促進に向けた合意形成と機運醸成等を図るための講演会・イベント等の開催や交通結節点周辺のまちづくりの計画策定等

②優良建築物等整備制度導入検討事業

中心市街地における優良建築物等整備制度導入の調査・検討・計画策定等

③沖縄こどもの国整備事業

沖縄こどもの国の動物舎等の整備・拡充

④文化財整備事業

越来グスクの歴史的・文化的資源の価値の保存活用及び周辺との一体的な整備

⑤3・4・沖3号線センター中央通り線相互通行化事業

センター中央通り線及び胡屋8号線における地方道路整備により、沖縄環状線からのアクセス性向上を図る

⑥沖縄市循環バス事業

中心市街地内の主要な施設や中心市街地周辺の公共交通空白地域等を循環するバスの運行

⑦商店街組織力等強化事業

中心市街地の商店街等が抱える空き店舗や賑わいの創出等の課題の解決に向けた、商店街等の組織力強化や人材育成につながる取り組みに係る費用の一部助成

⑧商店街（銀天街）活性化支援事業

コザ地区の通り会・地権者会の組織力強化やにぎわい創出の促進に向け、関係団体との意見交換やイベント開催の相談・調整、まちの担い手育成等の実施

【主な事業の位置図】



安全・安心・快適に過ごせる環境整備

⑨安慶田地区土地区画整理事業

土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備

⑩中の町地区土地区画整理事業

土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備

⑪(仮称)アーバンスポーツパーク整備事業

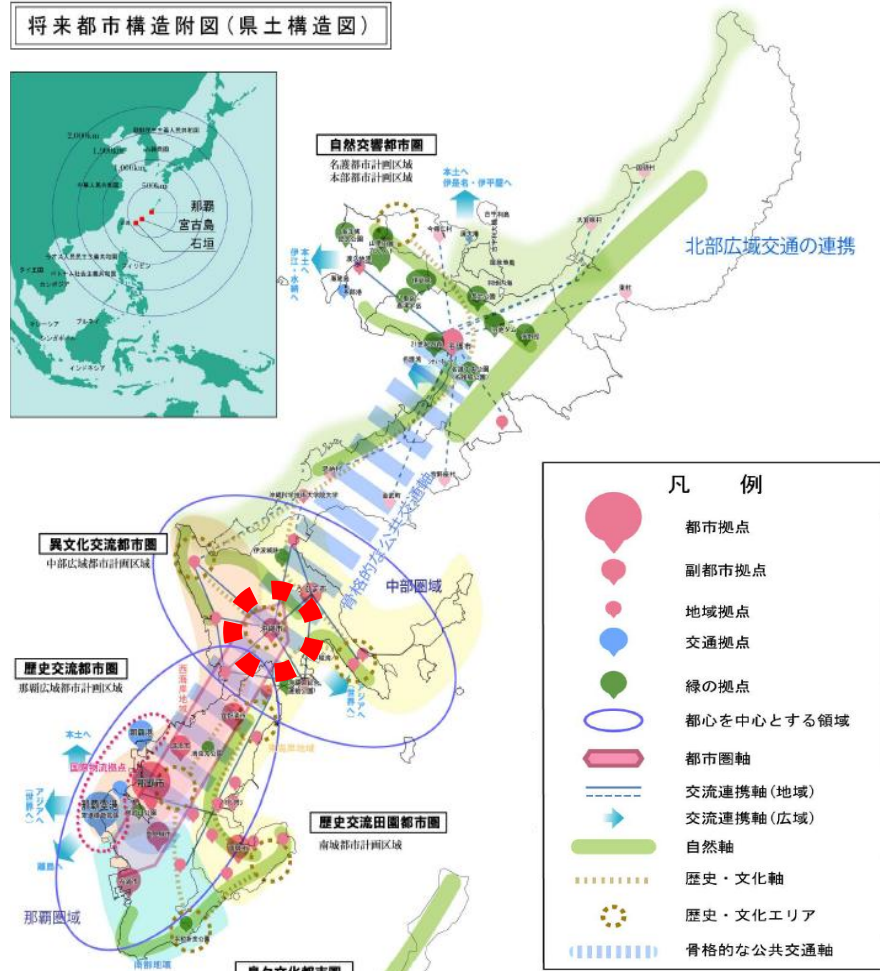
若年層を中心に人気を集めるアーバンスポーツ施設の整備

⑫空家等対策推進事業

空き家・不良住宅の除却、空き家の活用、関連事業等の総合的な空き家対策

- 「異文化交流都市圏」（多機能で個性的なまち）
→戦後の米軍基地建設、異文化との融合
チャンプルー拠点の形成
- 「那覇から1時間の2次生活圏」（中南部都市圏）
→**北部圏域と1時間の2次生活圏**

将来都市構造附図（県土構造図）



出典：中部広域都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(R4.11沖縄県)

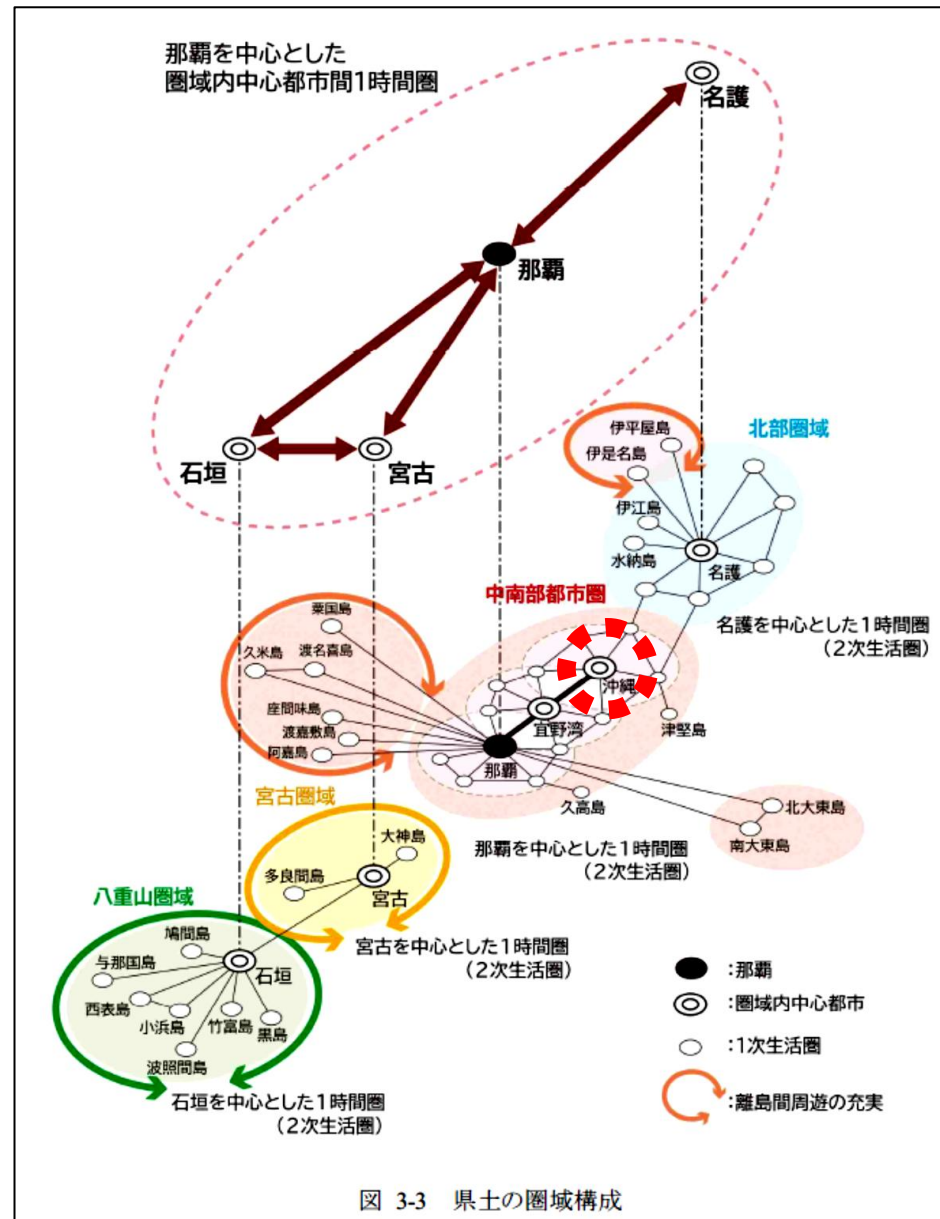


図 3-3 県土の圏域構成

出典：沖縄県総合交通体系基本計画(R4.10)

・「那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市・北中城村地域公共交通総合連携計画」(R4.3)において、基幹バスシステムの結節点については、「**国道330号胡屋地区沿道まちづくりと連携した交通結節点の形成**」を基本的な実施方針としている。

交通結節点の位置付け

沖縄市(コザ)

支線バス

沖縄北部方面

うるま方面

沖縄東部方面

ライカム(比嘉西原)

国道330号

基幹バス

支線バス

沖縄東部方面

北中城方面

普天間

支線バス

宜野湾北中城線

伊佐

国道58号

支線バス

読谷・嘉手納方面

北谷方面

宇地泊

宜野湾西原線

直栄原

支線バス

国道330号

那覇市

基幹バス

必要に応じて急行運行の導入により、モビリティの向上を目指す

＜速達性の向上＞

- ・基幹急行バス運行開始
- ・バスレーン整備

＜今後の課題＞

- ・伊佐以北へのバスレーン延長
- ・沖縄市側の交通結節点整備

国道58号方面以外の都心直通バス

12